

令和6年度中丹地域保健医療協議会・中丹地域医療構想調整会議合同会議 概要

- (1) 新たな地域医療構想に関する国の検討状況について<資料2>
事務局：資料に基づき国の検討状況を説明
→特に意見等なし
- (2) 京都式地域包括ケアの推進について<資料3>
事務局：人口構造や医療・介護需要に係る客観的データ、将来推計等から市町村を類型化し、類型ごとの課題や地域包括ケアの対応方向に係る検討状況を説明
→「対応方向」にある福知山市・舞鶴市の「中核病院」に民間病院も追記すべき。
事務局：民間病院も追記する。
- (3) かかりつけ医機能報告制度について<資料4>
事務局：令和7年4月から、かかりつけ医機能報告制度が施行。令和8年1～3月の各医療機関の報告に基づき、外来医療に関する地域の協議の場で具体的方策を検討予定。
→特に意見等なし
- (4) 外来医療における紹介受診重点医療機関の公表について<資料5①、②>
事務局：現在公表している3病院について、来年度の公表について意見を伺う。
(市立福知山市民病院、舞鶴医療センター、舞鶴共済病院)
→特に意見等なく、3医療機関の公表について了承を得る。
- (5) 地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業について
京都府立医科大学猪飼准教授から説明
- (6) 管内病院 変更事項について<資料7>
綾部市立病院の病床数変更について
綾部市：人口減少や高齢化による医療需要の変化に対応するため、病床数を206床から一般病床を7床減床し、199床に変更する。
綾部市立病院：現状の200床以上であれば、急性期病棟から地域包括ケア病棟に転棟できるのは6割未満とする等制限も多い。現在の医療機能を維持しつつ柔軟に対応できる地域密着型病院としての戦略的な減床である。
→特に意見等なし

(7) 中丹地域保健医療計画 推進状況について<資料8>

事務局：資料に基づき主な回答内容を説明。なお資料の【 】内は報告団体名を記載。

→特に意見等なし